



空冷式強力吸引作業車
NS-04CVP



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード：6402



代表取締役会長
山口 隆士



代表取締役社長
佃 維男

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
 -
- 2～3 財務ハイライト
 -
- 4 財務諸表
 -
- 5～6 事業概要
 -
- 7～8 製品トピックス
 -
- 9 トピックス
 -
- 10 会社情報

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第44期第2四半期決算のご報告として「BUSINESS REPORT へんしも」をお届けいたします。

中期経営計画・第44期全社活動方針

当期は、中期経営計画（3ヶ年）「S・I・N・C・A」（一進化・深化・真価一）の中間年度であり、重点実施事項として

1. 製品とサービスの進化と技術の深化による、顧客満足の向上
2. 新製品開発・新市場開拓による
顧客ニーズへの対応と企業価値の向上
3. 活力あふれる組織の創造

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月

営業の概況等

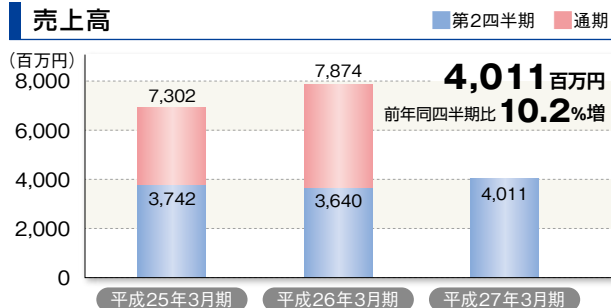
当第2四半期における我が国経済は、円安による資材価格高騰、台風や集中豪雨の天候不順が個人消費に及ぼす影響等が懸念されましたが、底堅い雇用情勢を背景に全体としては引き続き穏やかな景気回復が見られます。

当第2四半期につきましては、全国各地の幅広い業種のお客様からの需要により、主力製品である強力吸引作業車・高圧洗浄車の販売が好調であり、前事業年度から引き続き、活発な生産活動を維持いたしました。この結果、売上高・利益ともに前第2四半期を上回ることとなりました。また、受注残高につきましても、お客様からの信頼の高まりもあり、リピート案件が増加、官公庁・高速道路会社やレンタル

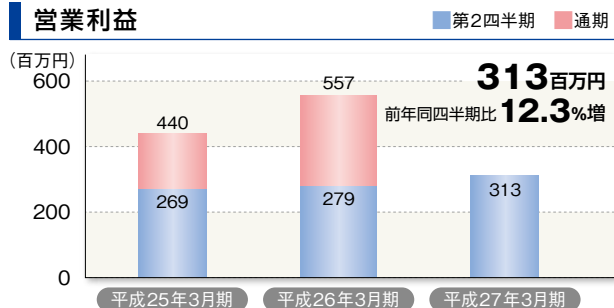
会社等からの受注も加わり、前第2四半期を大幅に更新し、引き続き高水準で推移しております。

業績（数値）につきましては、前第2四半期に比べ受注高は1,253百万円増の4,920百万円（前年同四半期比34.2%増）、売上高は370百万円増の4,011百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。損益につきましては、営業利益は34百万円増の313百万円（前年同四半期比12.3%増）、経常利益は36百万円増の325百万円（前年同四半期比12.8%増）、四半期純利益は31百万円増の202百万円（前年同四半期比18.7%増）を計上することとなりました。

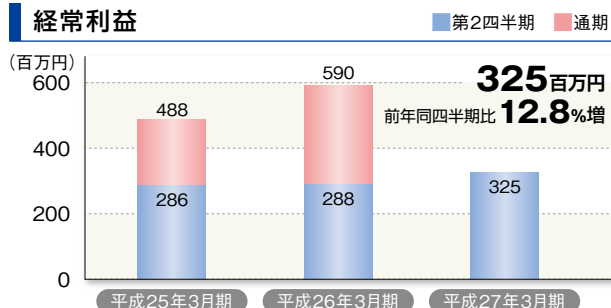
売上高



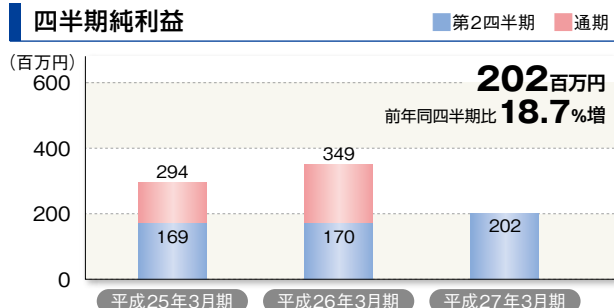
営業利益



経常利益

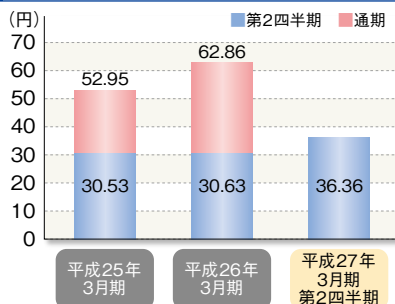


四半期純利益

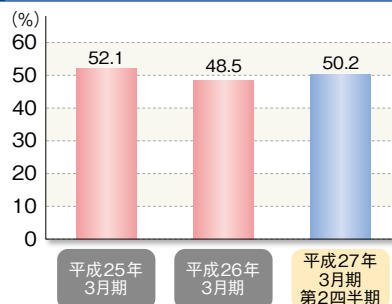


財務分析指標の推移

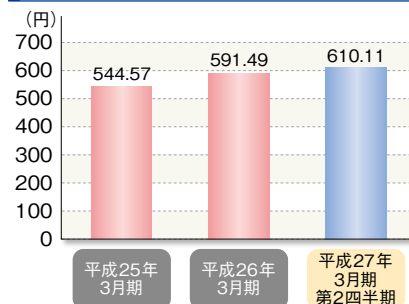
1株当たり純利益



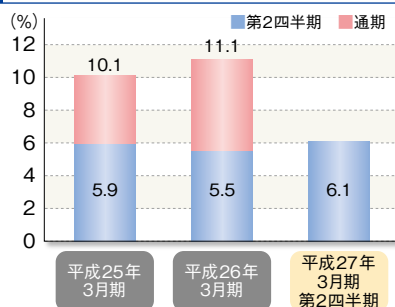
自己資本比率



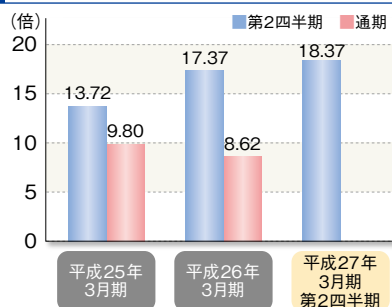
1株当たり純資産



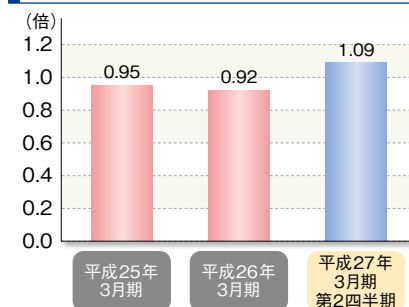
ROE (自己資本利益率)



PER (株価収益率)



PBR (株価純資産倍率)



※平成25年4月1日付で普通株式1株につき普通株式1.3株の割合で株式分割を行っております。平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。

通期業績予想

項 目	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
平成27年3月期 通期予想 (期初)	7,700百万円	537百万円	550百万円	333百万円	60円05銭
平成27年3月期 通期予想 (修正後)	8,500百万円	652百万円	670百万円	414百万円	74円51銭
対前期増減率	7.9%増	17.1%増	13.4%増	18.5%増	

【修正の理由】

引き続き高水準の生産、利益及び受注残高で推移する等、業績面での進捗が見られたことにより、期初予想より業績の向上が見込めることになりました。

財務諸表

貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	当第2四半期末 (平成26年9月30日)	前 期 末 (平成26年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	4,625,529	4,614,097
固定資産	2,128,993	2,166,443
有形固定資産	1,835,641	1,864,762
無形固定資産	71,897	75,562
投資その他の資産	221,454	226,118
資産合計	6,754,523	6,780,540
(負債の部)		
流動負債	3,115,554	3,247,961
固定負債	247,469	244,599
負債合計	3,363,023	3,492,560
(純資産の部)		
株主資本	3,389,033	3,286,992
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	2,721,097	2,619,056
自己株式	△1,785	△1,785
評価・換算差額等	2,465	987
純資産合計	3,391,499	3,287,979
負債純資産合計	6,754,523	6,780,540

損益計算書

(単位: 千円)

科 目	当第2四半期 (自 平成26年4月 1 日) (至 平成26年9月30日)	前第2四半期 (自 平成25年4月 1 日) (至 平成25年9月30日)
売上高	4,011,146	3,640,159
売上原価	3,007,186	2,749,710
売上総利益	1,003,959	890,448
販売費及び一般管理費	690,446	611,197
営業利益	313,512	279,251
営業外収益	11,496	9,348
営業外費用	7	544
経常利益	325,002	288,055
特別利益	19	—
特別損失	2	37
税引前四半期純利益	325,018	288,017
法人税等	122,917	117,762
四半期純利益	202,100	170,255

キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

科 目	当第2四半期 (自 平成26年4月 1 日) (至 平成26年9月30日)	前第2四半期 (自 平成25年4月 1 日) (至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,201	△50,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,824	△118,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,323	△80,131
現金及び現金同等物の減少額	△68,946	△249,882
現金及び現金同等物の期首残高	841,815	619,762
現金及び現金同等物の四半期末残高	772,868	369,879

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

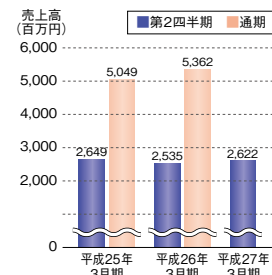
強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **2,622**百万円

国内では大きなシェアを占め、産業廃棄物の収集運搬に用いられるとともに、様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

- 廃棄物の収集運搬
- 高深度地下の汚泥回収
- 汚泥の長距離吸引



空冷式強力吸引作業車 (NS-13CVJP)

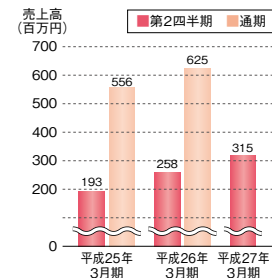


超強力吸引作業車 (SS-13BWP)

新製品等／その他

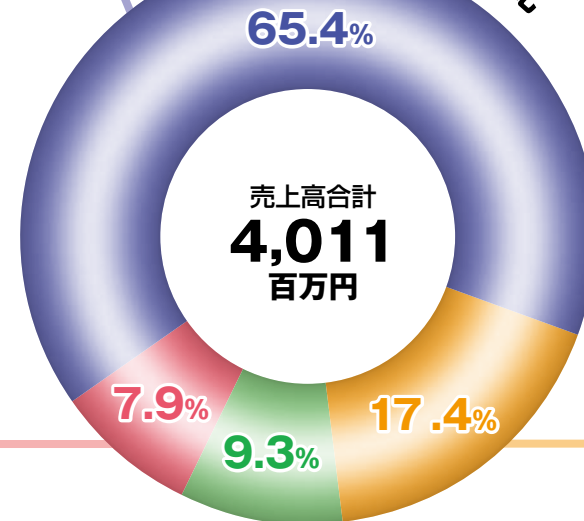
売上高 **315**百万円

新製品やその他の区分に属さない製品及び修理が含まれています。



洗浄吸引型路面清掃車 (RR-06BJR)

製品別売上高 構成比



売上高合計
4,011
百万円

高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **697**百万円

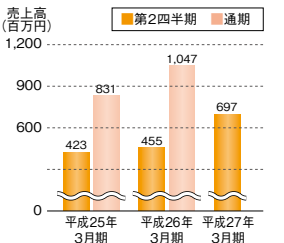
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車につぐ当社第2の主力製品となっています。

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-06W1825K)



粉粒体吸引・圧送車

(当第2四半期に売上はありませんでした)

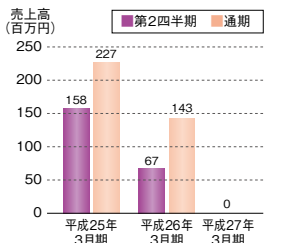
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高揚程輸送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント等粉体原料の回収・リサイクル
- 焼却灰の回収運搬



粉粒体吸引・圧送車 (SP-20BVYA)



部品販売

売上高 **374**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



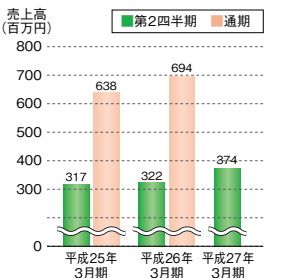
ブレーカー



フローゲージ



逆止弁



高性能化、新機能を搭載 空冷式強力吸引作業車 (NS-O4CVP)



デモンストレーション車

従来の特徴

- 冷却水を必要としないので、給排水が不要です。
- 従来の湿式ブロワと同等の高真空を発揮できます。(−93kPa)
- 従来の湿式ユニットが無いので、汚濁水が発生しません。

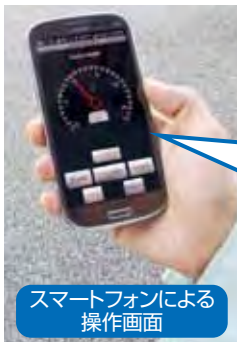


高性能化、新機能のポイント

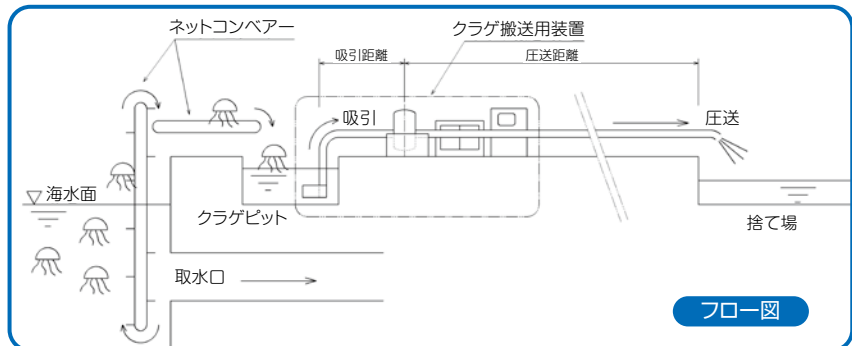
- **低騒音化**
吐出サイレンサの改良により、平均86.4dBから84.4dBへの低騒音化を実現
- **集塵効率向上**
サイクロンの形状最適化による、集塵効率の向上
- **遠隔操作**
スマートフォンによる遠隔操作システムを搭載

この強力吸引作業車は、当社従来品と比べ、低騒音化と集塵効率向上を実現しており、スマートフォンによる遠隔操作も可能となっています。

また9月から、東北・北海道地区を皮切りに全国各地でデモンストレーションを行っています。


スマートフォンによる
操作画面

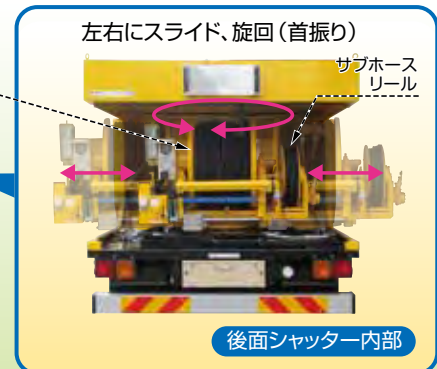
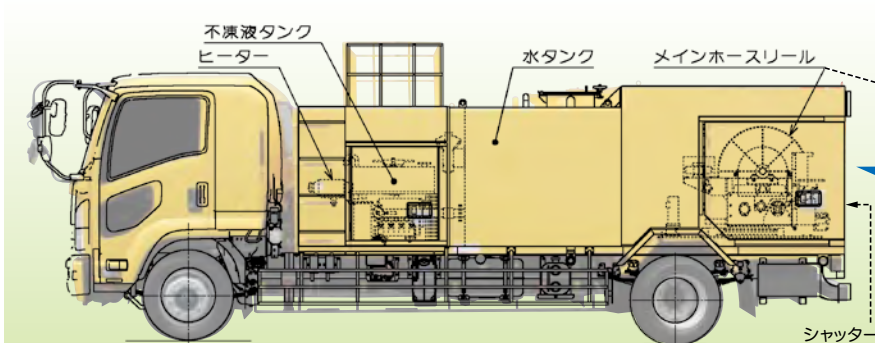

くらげ搬送装置 (EL-120SV/CD-27VW/DAT-20E)



クラゲが大量に発生することにより、火力発電所の冷却水として使用する海水の取水口が詰まることがあります。それを防ぎ、安定して電力を供給するための装置です。

海水を水とクラゲに分別、クラゲを吸引し、捨て場へ長距離圧送します。

作業性向上、寒冷地仕様 6トン高圧洗浄車 (JS-06S2320K)



この製品は、寒冷地仕様の高圧洗浄車です。車両後面にはシャッターを採用しています。

角型の水タンクに加えて、車両後面シャッター内の台座に載ったメインホースリールとサブホースリールは、油圧旋回するだけでなく、左右にスライドすることもできる仕組みとなっており、作業性の向上を図っています。

カンボジア・プノンペン市にて 下水・雨水管清掃車の現地トレーニングを実施

ODAプロジェクトにより、2012年11月にカンボジア・プノンペン市へ納入した強力吸引作業車2台・高圧洗浄車2台の納入2年目の現地トレーニングを実施しました。

実作業である下水・雨水合流の排水ポンプ場沈砂池の清掃に立ち会い、納入時に指導した操作や作業方法及び保守点検等がしっかり行われているかを確認し、作業員全員へ基礎から再指導しました。



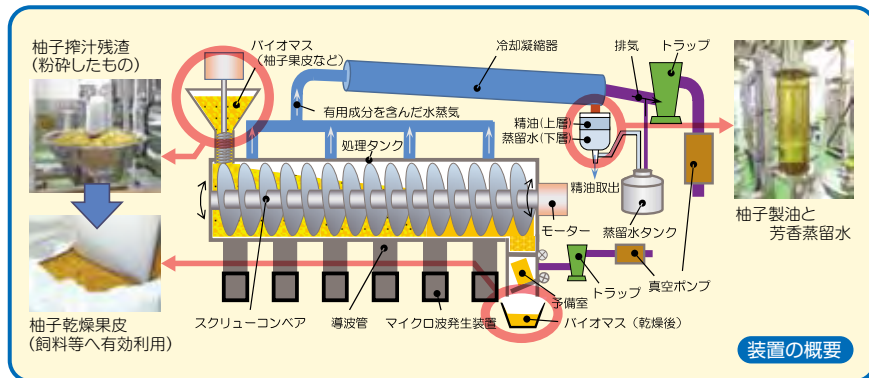
トレーニングの様子



バイオマス再資源化装置(連続式精油抽出・乾燥装置)をプレス発表

4月22日、本社にある研究棟にてバイオマス再資源化装置のプレス発表を行いました。

今回の発表では、精油の大量生産を可能にし、果皮等の乾燥も行える連続型抽出装置の試作機を公開しました。この装置を用いれば、産業廃棄物として処理していた、搾った後の果皮等(搾汁残渣)を資源として再利用することができます。



バイオマス再資源化装置
(連続式精油抽出・乾燥装置)



会社の概要

設立年月日 昭和46年9月1日
資本金 313,700,000円
従業員数 171名
事業内容 強力吸引作業車、高圧洗浄車等
環境整備機器の製造販売

役員

代表取締役会長 山口 隆士
代表取締役社長 佃 維男
常務取締役 山本 琴一
取締役 柳井 仁司
常勤監査役 中村 修身
社外監査役 西岡 啓二郎
社外監査役 平井 雄一

事業所

本社 〒781-5101 高知市布師田3981-7
TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211

明見工場 〒783-0007 高知県南国市明見913-11
TEL (088) 864-1506 FAX (088) 864-1167

技術センター 〒783-0007 高知県南国市明見898-20
TEL (088) 864-1771 FAX (088) 864-2032

東日本支社
東東京支店/ 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1
西東京支店 アンソレイエ・オオタ6F
TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333

東北・北海道支店 〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F
TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995

札幌営業所 〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F
TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860

名古屋支店 〒462-0013 名古屋市北区東味鏡1-702
TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525

西日本支社
大阪支店 〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43
TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350

中四国支店 〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F
TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133

福岡支店 〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F
TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

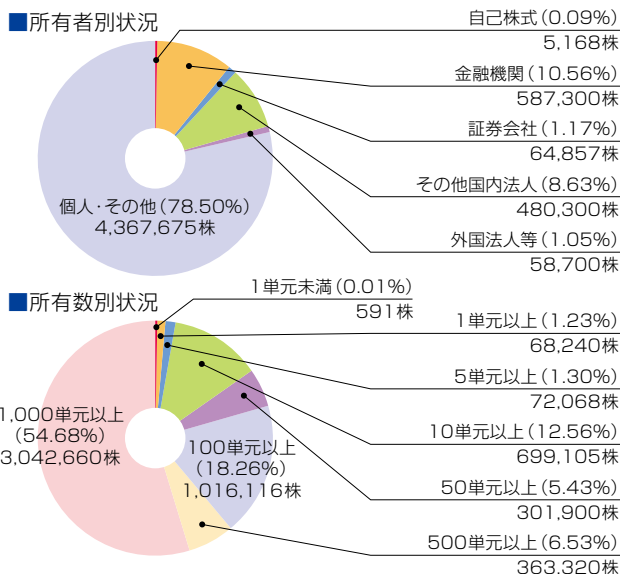
会社が発行する株式の総数 17,576,000株
発行済株式の総数 5,558,832株
(自己株式5,168株を除く)

株主数 1,079名

大株主

株主名	持株数	持株比率
兼松エンジニアリング従業員持株会	524,100株	9.43%
山本 琴一	425,600株	7.66%
三谷 浩 溢	425,360株	7.65%
株式会社扇港鋼業所	357,900株	6.44%
山口 隆 士	314,932株	5.67%
山本 吾 一	262,860株	4.73%
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社（信託口）	248,100株	4.46%
柳川 裕 司	197,860株	3.56%
株式会社四国銀行	152,100株	2.74%
坂本 洋 介	133,848株	2.41%

株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日)
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

K&E 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 高知市布師田3981番地7 TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211
<http://www.kanematsu-eng.jp/>

e100 
古紙配合率100%再生紙
このビジネスレポートは、環境に配慮し、
再生紙と植物油インキを使用しております。